

平成29年度版

生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

大和市環境管理センター
収集業務課 資源循環担当

目次

I. アンケート実施概要	1
II. アンケート結果概要	2
1. 補助制度について	2
(1) 補助制度の周知等について	2
(2) 補助率・補助金額について	2
(3) 補助制度の効果について	2
2. 機器について	4
(1) 機器の購入と補助制度について	4
(2) 機器を利用している世帯数と年齢層について	4
(3) 機器の利用年数について	4
(4) 機器の利用状況について	4
3. 個別の質問について	5
(1) 機器から出る二オイ・音について	5
(2) 堆肥（生成物）について	5
III. アンケート結果分析	6
1. 機器の利用と減容率の関係	6
2. 機器の利用と機種タイプの関係	7
3. 機器の二オイや音と再購入について	9
4. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について	10
5. 電動式生ごみ処理機によるごみの減容量について	11
IV. 各設問ごと結果	12
V. 自由記入欄一覧	21
1. 補助制度について	21
2. 機器の使用について	21
3. 生成物について	21
4. 補助制度の周知について	22
5. その他	22
資料 アンケート様式	25

I. アンケート実施概要

本アンケートは、生ごみ処理容器等設置費補助金制度利用者に対し、機器の利用状況、処理物の活用方法及び制度に対する満足度等を調査し、今後の資源化施策及び補助金制度の検討資料とするものです。

- 調査期間 平成29年8月1日～8月31日
- 調査対象者 平成24年度の個人の電動式生ごみ処理機購入補助利用者全員（94人）。
※転出等によりアンケートが不着となった件数を除く。
- 調査方法 郵送調査、無記名方式
- 調査内容
 - ・使用者について（世帯人数、主な利用者の年代）
 - ・使用機種について（処理方式、購入動機、購入先）
 - ・使用状況について（利用頻度、生ごみ処理量、減量効果）
 - ・生成物について（生成物の活用方法、拠点回収場所の利用）
 - ・制度について（周知方法、補助率・限度額等への満足度や意見）
- 回答者数 49人
- 回答率 52%

Ⅱ. アンケート結果概要

ここでは調査結果の概要について報告します。各設問の詳細な結果については、「Ⅳ. 各設問ごと結果」及び「Ⅴ. 自由意見一覧」をご参照ください。

1. 補助制度について

(1) 補助制度の周知等について

- 補助制度を知った方法については、「広報やまと」が一番多く26人でした。その他の市の媒体では、「資源とごみのパンフレット（市配布）」が6人、「市ホームページ」が5人という結果でした。
- 一方で、「販売店等の宣伝」が16人、「口コミ」が8人と、市の周知以外で補助制度を知ったという方も多くみられました。

(2) 補助率・補助金額について

- 補助率の満足度について、「満足」「ふつう」ではなく、「その他」と回答した方は49人中3人、補助金額の満足度について、「満足」「ふつう」ではなく、「その他」と回答した方は49人中2人でした。
- 「お手持ちの電動式生ごみ処理機の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか」という質問に対し、一番多かった回答は「現在の補助金額（率）なら購入すると思うが、補助金額（率）が下がったら購入しないと思う」の33%でした。

本市の電動式生ごみ処理機の補助「補助率75%、補助上限金額50,000円」は、綾瀬市の90%に次いで県内2位、補助金額も大磯町の60,000円に次いで県内2位となっています。これは全国的に見ても高いです（JEMA等調べ。詳細は次ページ）。

補助率・補助金額に関して、「気になっていつも高額でためらっていた機器購入の後押しをしてくれて満足しています」「故障した時に補償金が出るのであれば買い替えしやすく助かります」という意見もありました。

(3) 補助制度の効果について

- 補助制度を知ってごみの減量化、資源化への関心が「非常に高まった」「高まった」との回答は78%ありました。

JEMA（日本電機工業会）では家電製品について様々な情報を公表しており、家庭用電気生ごみ処理機の助成金についても調査結果が公表されています。

1. 県内各自治体における、家庭用電気生ごみ処理機の補助金額と補助率の一覧

【県内各自治体の補助金額（上限）】

自治体名	補助金額
大磯町	60,000
大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	50,000
鎌倉市・秦野市	40,000
藤沢市	35,000
相模原市・横須賀市・逗子市・伊勢原市 葉山町・寒川町・松田町・箱根町・清川村	30,000
茅ヶ崎市	25,000
川崎市・二宮町・山北町・真鶴町・湯河原町	20,000

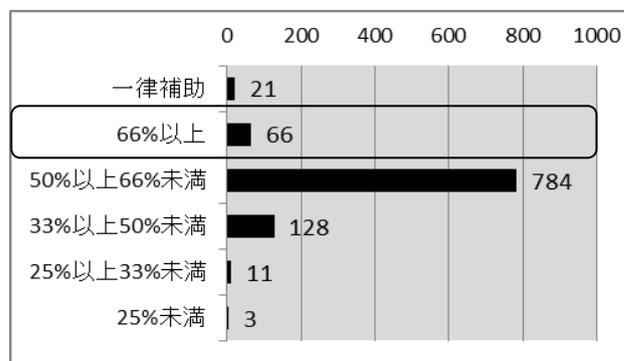
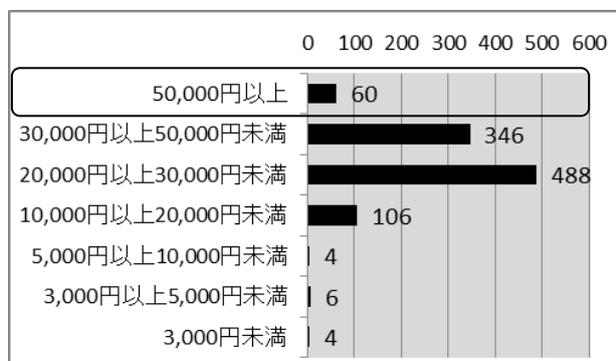
【県内各自治体の補助率（上限）】

自治体名	補助率
綾瀬市	9/10
大和市・鎌倉市・藤沢市・海老名市 座間市・大磯町・二宮町	3/4
逗子市・葉山町	2/3
川崎市・相模原市・横須賀市・茅ヶ崎市 秦野市・伊勢原市・寒川町・松田町 山北町・箱根町・真鶴町・湯河原町 清川村	1/2

【補助を実施していない自治体】

小田原市・三浦市・厚木市・横浜市・平塚市
南足柄市・中井町・大井町・開成町・愛川町

2. 全国各自治体における、家庭用電気生ごみ処理機の補助金額と補助率



上表の通り、補助率75%、補助上限金額50,000円という本市の補助内容は、全国的にも高いことがわかります（表中の囲み部分が本市該当部分）。

2. 機器について

(1) 機器の購入と補助制度について

- 電動式生ごみ処理機を購入した動機（複数回答）について「補助制度があるため」を挙げた方は25人で、「ごみを減量化したい」を挙げた41人に次いで多くいました。
- 「補助制度が無くても電動式生ごみ処理機を購入しましたか」という設問に「購入していない」と回答した方は一番多く、49%いました。

また、補助制度に関して、自由意見欄にて、

- 生ごみ処理機を使用してから生ごみが肥料になり助かっています。補助金制度は続けてほしいと思います。
 - 家から離れたところにある家庭菜園で使うため、運ぶのにも便利です。
 - 乾燥式(電動)は高額なので、補助を利用して大変嬉しく思います。ごみを出す側は勿論ですが、収集される方や処理場での業務が少しでも楽になるのであれば、引き続き利用させて頂きたいと思っております。
- といった声をいただいています。

(2) 機器を利用している世帯数と年齢層について

- 機器を利用している世帯数は「3人」が43%で最も多く、続いて「2人」が29%、「4人」が14%となっており、2~4人世帯が全体の約90%を占めました。
- 主に使用している年齢層は「60歳以上」が45%と最も多く、続いて「40代」が22%、「30代」が12%という結果でした。
- 世帯数と年齢層の関係については、60歳以上では「2人世帯」「3人世帯」が多く、40代では「3人世帯」「4人世帯」が多いという結果でした。

(3) 機器の利用年数について

- 継続して機器を使用している年数は、「約5~6年」と回答した方と、「8年以上」と回答した方が同数で、29%という結果でした。
- 次いで、2番目に多かったのは「約3~4年」の20%でした。

(4) 機器の利用頻度について

- 機器の利用状況は、「毎日」「週に1、2回」と回答した方が全体の82%を占めました。
- 1日の処理量については、「100g~200g未満」が最も多く、次いで「200g~300g未満」で、両者を合わせると全体の63%を占めました。
- 減容量については、「約1/4」が39%で最も多く、「約1/3」が22%、「約1/2」が16%でした。

機器を利用するメリットとして、「生ごみの臭いで悩まされることもなく、カラス等にごみ袋をあらされることもなく、ごみの量も減って良いことばかりです」というご意見をいただきました。

その一方、デメリットとして、「処理能力が思っていた以上に少なく、コンポストの方が便利なので、何度目かの使用不能になった後、今は使用していない」というご意見もありました。

3. 個別の質問について

(1) 機器から出るニオイ・音について

- ニオイについて「気になる」「多少気になる」と回答した方は、全体の29%でした。また、音について「気になる」「多少気になる」と回答した方は16%でした。
- ニオイと音について比べると、「ほとんど（まったく）臭わない」という回答は35%でしたが、「ほとんど（まったく）音がしない」という回答は16%にとどまりました。

(2) 堆肥（生成物）について

- 生成された生成物の利用・処理方法については、家庭菜園や花壇、プランター等での肥料として利用している方が最も多く、合わせて32人（65%）いました。一方で、ごみとして排出している方も13人（27%）いました。
- 生成物を資源の拠点回収場所に出すことができることについて、57%の方が「知らない」と回答しました。

Ⅲ. アンケート結果分析

ここでは、複数の設問の関係性から見た分析結果について報告します。

1. 機器の利用と減容率の関係

機器の利用頻度と減容率の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

		減容率				計
		約1 / 2	約1 / 3	約1 / 4	その他	
利用頻度	毎日	11.1%	11.1%	20.0%	6.7%	48.9%
	週に1、2回	2.2%	11.1%	15.6%	6.7%	35.6%
	月に1、2回	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%
	年に数回	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	使っていない	4.4%	2.2%	0.0%	2.2%	8.9%
	壊れて使えない	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	4.4%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計	17.8%	24.4%	42.2%	15.6%	100.0%

【機器の利用頻度と減容率の関係について】

機器の利用は「毎日」「週に1、2回」の順に多く、その方々の減容率は「約1 / 4」「約1 / 3」の順に多くいました。

2. 機器の利用と機種タイプの関係

機種タイプごとに、利用頻度との相関を見ました。

基本的に、どの機種も「毎日」「週1, 2回」という回答が多くありました（P. 16参照）。

		利用頻度						計
		現在も使っている				現在は使っていない		
		毎日	週1、2回	月1、2回	年数回	使っていない	壊れて使えない	
機種タイプ	乾燥式	55.6%	29.6%	3.7%	0.0%	7.4%	3.7%	100.0%
		88.9%				11.1%		100.0%
	バイオ式	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	100.0%
		80.0%				20.0%		100.0%
	ハイブリッド式	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%
		87.5%				12.5%		100.0%

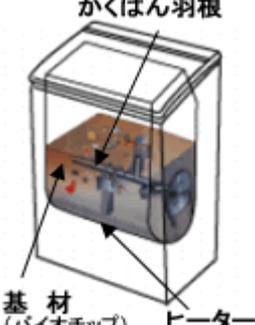
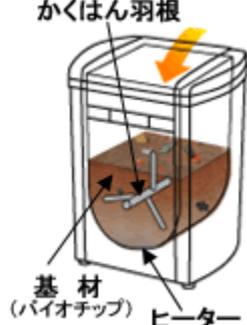
【機器の利用頻度と機種タイプの関係について】

※参考 電動式生ごみ処理機の3つのタイプについて

電動式生ごみ処理機は、大きく3つのタイプに分類されます。

それぞれのタイプの特徴は以下の通りです。

なお、長所・短所の項目は「乾燥式⇔バイオ式・ハイブリット式」の比較となっています。

	乾燥式	バイオ式	ハイブリット式
原理	生ごみの水分を飛ばすことで減容化する。	基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。	生ごみの水分を飛ばして微生物が活動しやすい環境を整えた上で、基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。
減容能力	約 $\frac{1}{7}$ に減容	約 $\frac{1}{10}$ に減容	約 $\frac{1}{10}$ に減容
長所	<ul style="list-style-type: none"> • 本体が比較的コンパクトな形にできる • 手間がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> • 減容化能力が高い • 堆肥が生成できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 減容化能力が高い • 堆肥が生成できる
短所	<ul style="list-style-type: none"> • 電気代がかかる • 堆肥は生成できない 	<ul style="list-style-type: none"> • 微生物の環境を整えるのが難しい • 基材の代金がかかる • 水分量調節のための木材チップ等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> • 微生物の環境を整えるのが難しい • 基材の代金がかかる
主な構造			

【電動式生ごみ処理機の種類と構造】

3. 機器のニオイや音と再購入について

電動式生ごみ処理機やコンポストは思ったよりニオイや音がするので期待外れだった、というご意見をいただくことがあります。そこで、現在機器を使用している方の状況を調べてみました。

下表は、機器のニオイや音と、再購入についての関係をまとめたものです。

ここでは、回答の「ほとんど（まったく）しない」「多少するが気にならない」「かなりするが気にならない」「多少気になる」「かなり気になる」の順に深刻度が高くなっていくと考え、ニオイと音のどちらか深刻度が高い方の数値を採用しています。例えば「多少ニオイがするが気にならない」と「多少音が気になる」という回答をした場合は、「多少気になる」にカウントしています。

		購入5年経過後もう一度電動生ごみ処理機を購入するか					
		購補 入助 すが なく ても	購補 入助 すが あ れば	購補 入助 し が な い け れ ば	購補 入助 し が あ い っ て も	そ の 他	計
ニ オ イ ・ 音 は す る か	しない	1	0	2	1	0	4
	多少するが気にならない	4	5	9	1	5	24
	かなりするが気にならない	1	1	3	2	1	8
	多少して気になる	0	1	3	1	1	6
	かなりして気になる	2	1	0	0	0	3
	計	8	8	17	5	7	45

【電動式生ごみ処理機の種類と構造】

「補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う」と回答した方は5人でしたが、大半が「多少するが気にならない」「かなりするが気にならない」と回答しており、「かなり気になる」と回答した方はいませんでした。

また、ニオイや音が「多少気になる」「かなり気になる」と回答した人が、「購入5年経過後もう一度電動式生ごみ処理機を購入するか」という質問にどのように回答したか（表中の太枠囲み部分）を見ると、「補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う」が2人、「補助があれば購入すると思う」が5人という結果でした。

4. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について

「補助制度がない場合の購入」と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

		補助制度が無くても購入していたか			計
		購入していた	購入していない	わからない	
関心	非常に高まった	9	0	1	10
	高まった	12	8	6	26
	変わらない	6	3	1	10
	低くなった	0	0	0	0
	計	27	11	8	46

【補助制度がない場合の購入と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係について】

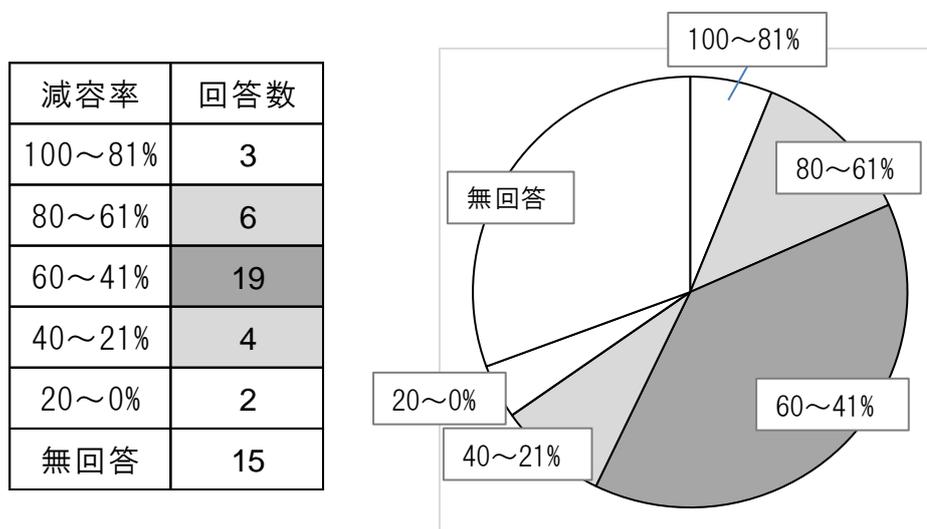
全ての方が、補助制度を知って、ごみの減量化・資源化への関心が「非常に高まった」「高まった」「変わらない」と回答しています。

また、補助制度がなければ機器を購入していないと回答した方のうち、一番多い8人の方が「ごみの減量化・資源化への関心が高まった」と回答しています。（網掛けで表示）

5. 電動式生ごみ処理機によるごみの減容量について

「電動式生ごみ処理機を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか」という設問とは別に、電動式生ごみ処理機を1週間使用した場合、有料指定ごみ袋の使用がどれくらい減るのかについても調査しました。

下表及び円グラフは、袋の使用枚数を容量に変換し、更に減容率の傾向をまとめたものです。



【電動式生ごみ処理機によるごみの減容量について】

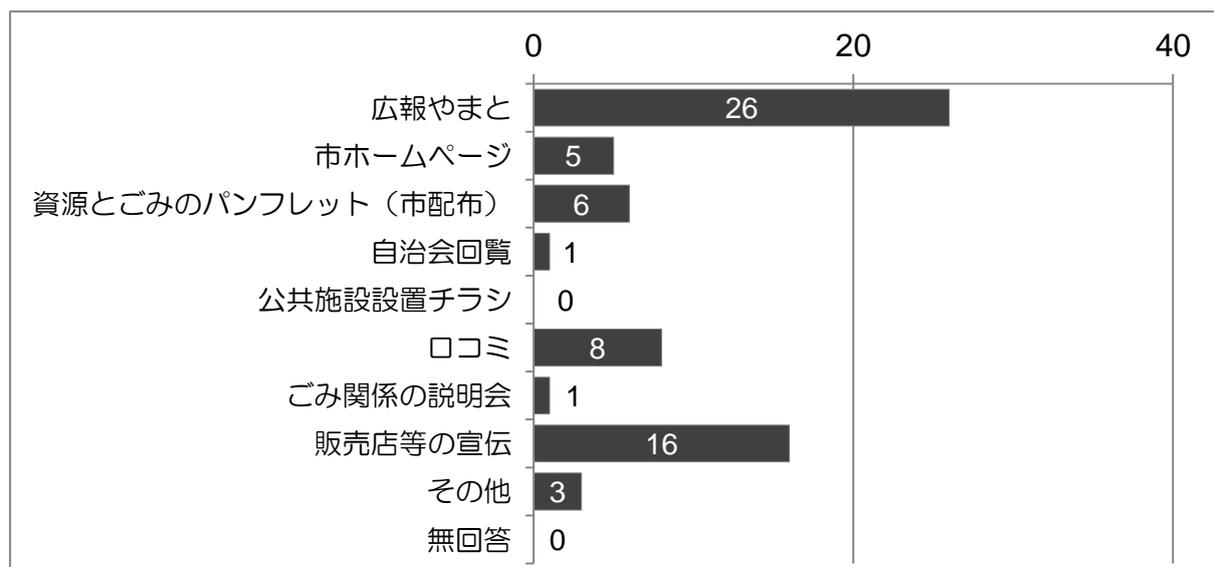
ごみがゼロになった（減容率100%）という人も、ごみ量は変わらない（減容率0%）という人もいましたが、「60～41%」を中心に、ほぼ正規分布になっています。

IV. 各設問ごとと結果

ここでは、実施したアンケートの設問ごとの結果についてまとめました。

「電動式生ごみ処理機」については「機器」と略しています。また、「その他」等を選択していただいた場合の自由記入回答は欄外にまとめてあります。なお、その際、同様の回答についてはまとめさせていただきました（例：「2日に1回」と「1日おき」）。

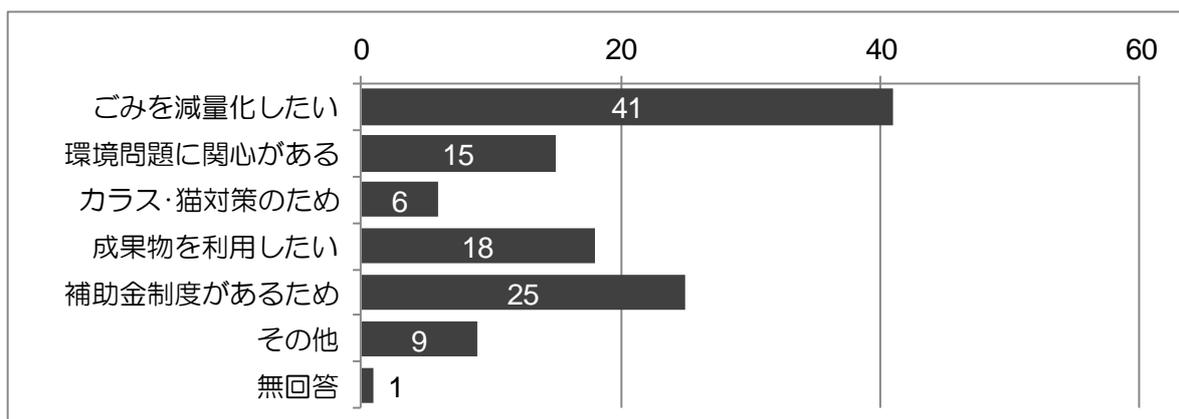
1. 補助制度を、どのような方法で知りましたか



▼その他

- ・電気屋さん（行きつけの大和市）
- ・過去2回申請している

2. 機器を購入しようと思ったきっかけは、どのような理由からですか

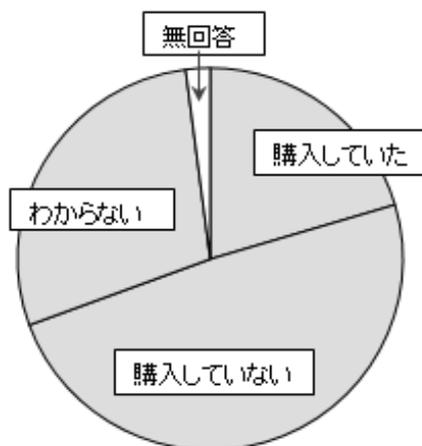


▼その他

- ・生ごみの臭い対策（5人）
- ・生ごみを衛生的に処理できる。残飯処理が楽。
- ・食品宅配（コープなど）が持って行ってくれる
- ・自宅を空けることが多く、ごみの日に出せない時があるため生ごみの一時保管場所として
- ・ごみを捨てる袋が有料化されたため

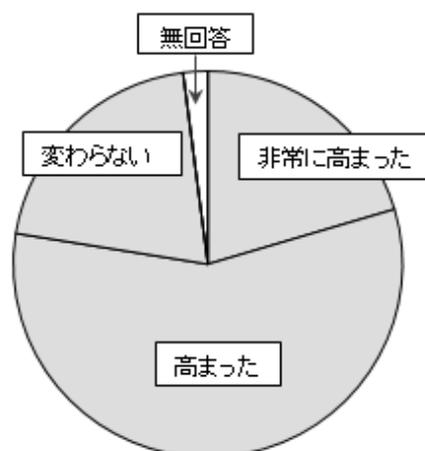
3. 補助制度が無くても機器を購入していたと思いますか

	回答
購入していた	10
購入していない	24
わからない	14
無回答	1
計	49



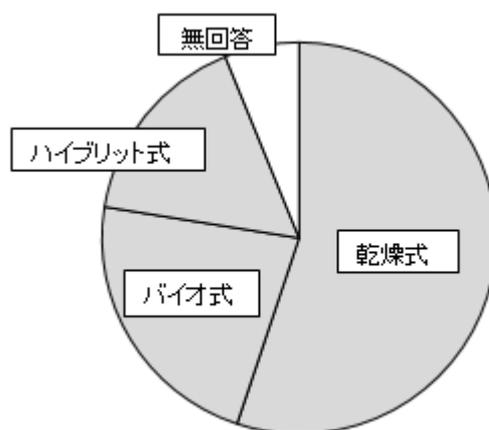
4. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

	回答
非常に高まった	10
高まった	28
変わらない	10
低くなった	0
無回答	1
計	49



5. 購入された機器のタイプはどれですか

	回答
乾燥式	27
バイオ式	11
ハイブリット式	8
無回答	3
計	49



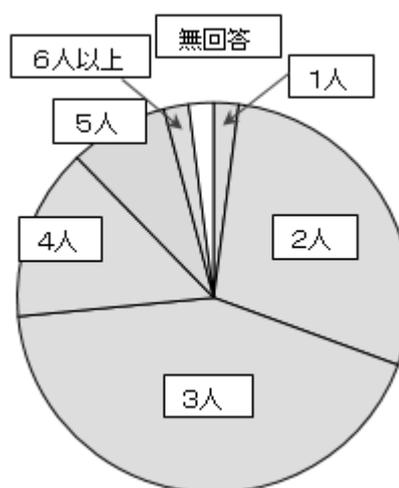
6. 問5のタイプを選択したのは、どのような理由からですか

【乾】：乾燥式 【バ】：バイオ式 【ハ】ハイブリット式

- 【乾】 置き場所に困らない（6人）
- 【乾】 手軽なので（5人）
- 【乾】 バイオ式は臭うと聞いていたので
- 【乾】 早く処理できることから
- 【乾】 メンテが楽でにおいが少ない
- 【乾】 人気があったため
- 【乾】 値段が手頃だったから
- 【乾】 実家で使っていたから
- 【乾】 種類が豊富で選びやすかった
- 【乾】 インターネットの口コミが良かったから
- 【乾】 堆肥にしたいから
- 【乾】 処理時間が早いから
- 【乾】 成果物を活用することができないため
- 【ハ】 処理性能が良いと思われたから
- 【ハ】 出張販売で実物を見たので
- 【ハ】 電気代が安くてすむ
- 【ハ】 その時はそれしか知らなかった。
- 【ハ】 電気店のおすすめ（2人）

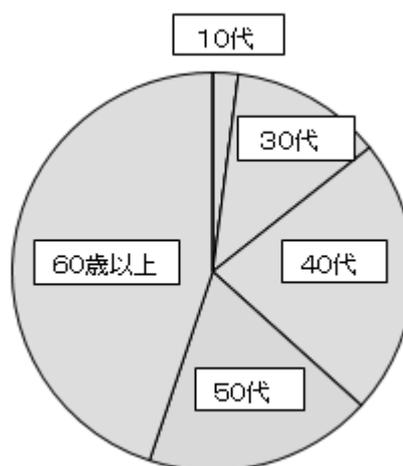
7. 利用している世帯人数を教えてください

	回答
1人	1
2人	14
3人	21
4人	7
5人	4
6人以上	1
無回答	1
計	49



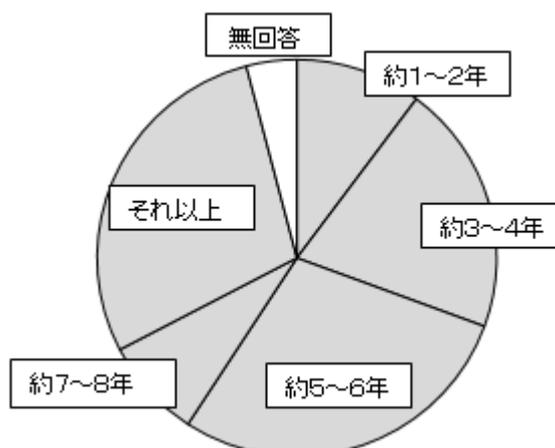
8. 主に利用されている方の年齢層を教えてください

	回答
10代	1
20代	0
30代	6
40代	11
50代	9
60歳以上	22
無回答	0
計	49



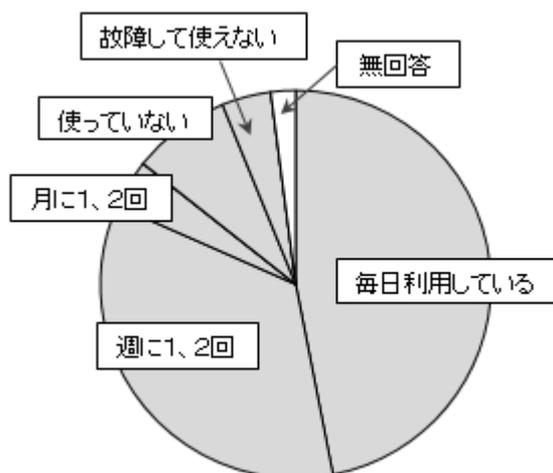
9. 現在まで、機器をどれくらい続けて使用していますか

	回答
約1～2年	5
約3～4年	10
約5～6年	14
約7～8年	4
それ以上	14
無回答	2
計	49



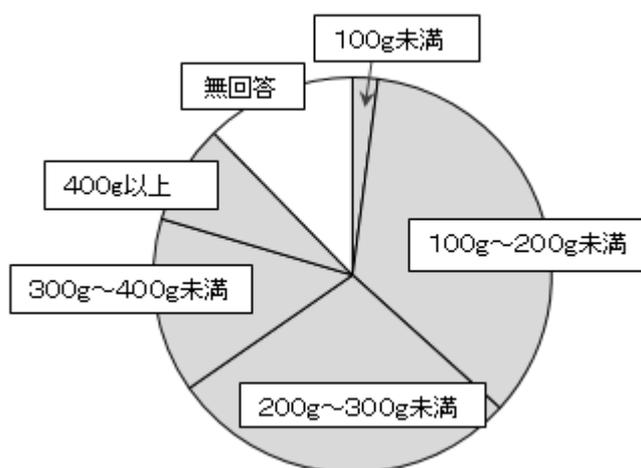
10. 機器の利用頻度はどのくらいですか

	回答
毎日利用している	23
週に1、2回	17
月に1、2回	2
年に数回	0
使っていない	4
壊れて使えない	2
その他	0
無回答	1
計	49



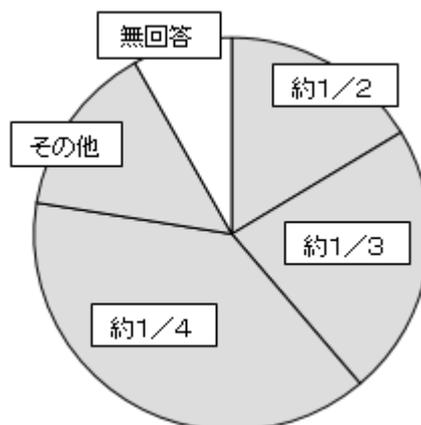
11. 現在は、機器で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

	回答
100g未満	1
100g～200g未満	17
200g～300g未満	14
300g～400g未満	7
400g以上	4
無回答	6
計	49



12. 機器を使用してから生ごみの量はどのくらい減ったと思いますか

	回答
約1/2	8
約1/3	11
約1/4	19
その他	7
無回答	4
計	49



▼その他

- ・全部庭に穴を掘ってすてている
- ・ほとんど出なくなった
- ・生ごみはほとんど出ない
- ・コンポストも併用していたので、生ごみは外に出さない
- ・ほぼゼロ

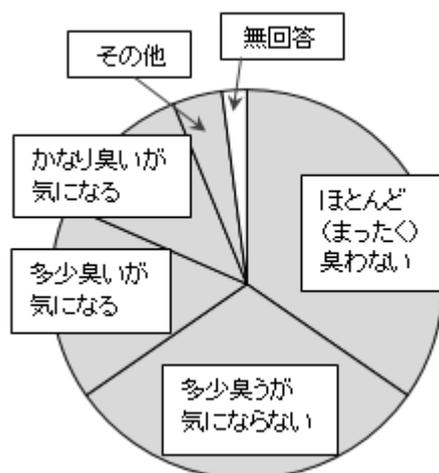
13. 機器を1週間利用して、使用前と使用後の状況を教えてください

使用前	使用后	回答
5ℓ1袋	ゼロ	1
20ℓ1袋	5ℓ1袋	5
	10ℓ1袋	1
10ℓ2袋	5ℓ2袋	1
20ℓ1袋	10ℓ1袋	3
10ℓ2袋	5ℓ2袋	1
20ℓ1袋	10ℓ1袋	1
10ℓ2袋	10ℓ1袋	1
20ℓ1袋	10ℓ1袋	1
10ℓ2袋	10ℓ1袋5ℓ1袋	1
20ℓ1袋10ℓ1袋	5ℓ2袋	1
30ℓ1袋	30ℓ1袋	2
40ℓ1袋	5ℓ1袋	2
	10ℓ1袋	1
20ℓ2袋	10ℓ2袋	1

使用前	使用后	回答
40ℓ1袋	20ℓ1袋	1
20ℓ2袋	10ℓ2袋	1
40ℓ1袋	20ℓ1袋	1
20ℓ2袋	10ℓ2袋	1
	30ℓ1袋	1
	20ℓ1袋10ℓ1袋	1
40ℓ1袋	30ℓ1袋	1
30ℓ2袋	10ℓ2袋	1
	20ℓ1袋	1
40ℓ1袋30ℓ1袋	20ℓ2袋	1
40ℓ6袋	40ℓ3袋	1
計		34

14. 機器から出るニオイはどうですか

	回答
ほとんど（まったく）ニオイがしない	17
多少ニオイがするが気にならない	15
多少ニオイが気になる	8
かなりニオイが気になる	6
その他	2
無回答	1
計	49

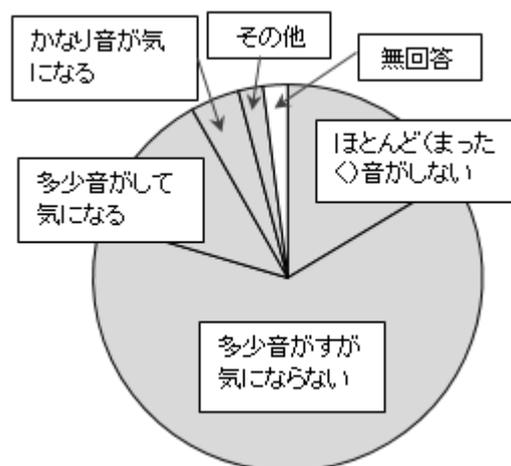


▼その他

- ・入れるものによりかなり臭う時があるが、なれた
- ・私は臭いを感じないからわからないが、孫に出してくれと頼むと勘弁してくれと言われる

15. 機器から出る音はどうですか

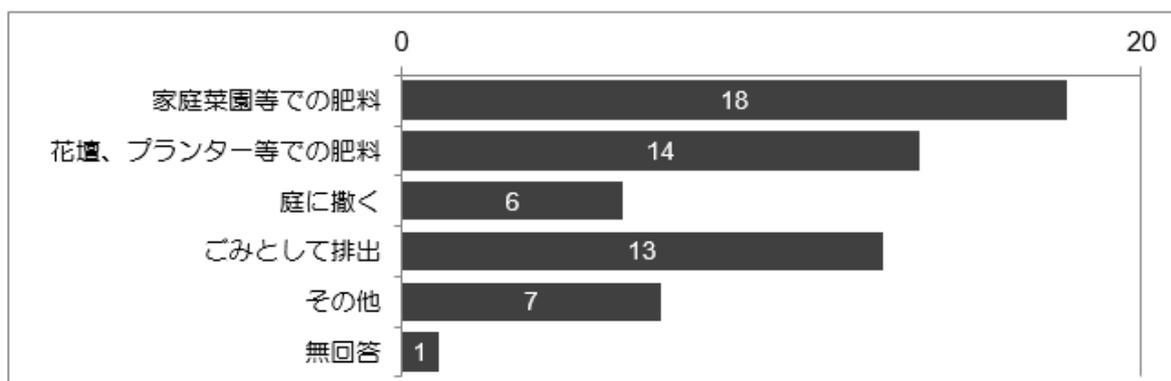
	回答
ほとんど（まったく）音がしない	8
多少音がするが気にならない	31
かなり音がするが気にならない	6
多少音がして気になる	2
かなり音がして気になる	1
無回答	1
計	49



▼その他

- ・予約運転で夜中に稼働させているので気づかない

16. 機器で処理したあとの生成物はどのように利用又は処理していますか

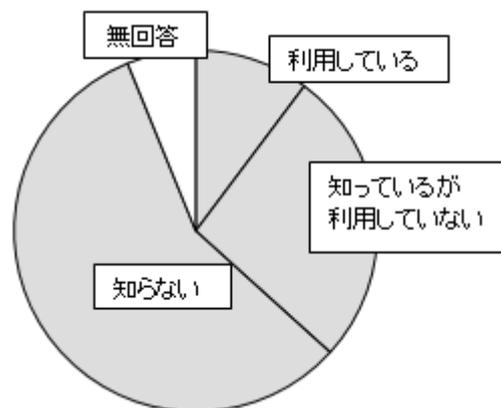


▼その他

- ・拠点回収場所に出す（2人）
- ・コープの引き取り
- ・ごみが増えないので今までに一度バイオをとりかえただけ。古いバイオは燃料として使用
- ・ほとんど残らないので
- ・友達にあげている

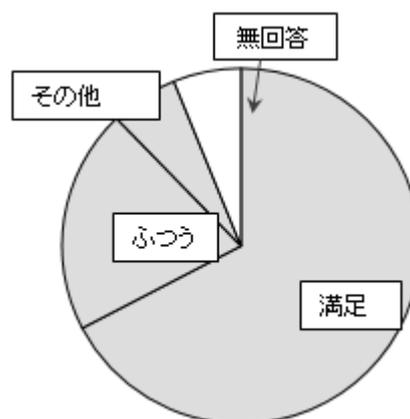
17. 生成された生ごみ堆肥を資源の拠点回収で回収していることを知っていますか

	回答
利用している	5
知っているが利用していない	13
知らない	28
無回答	3
計	49



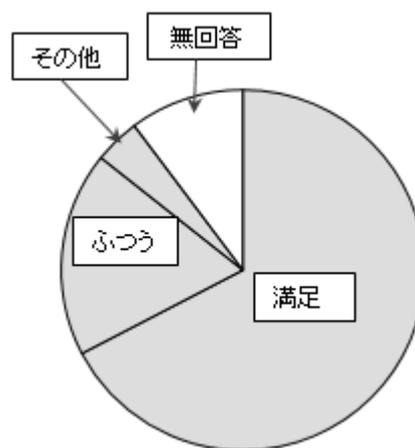
18. 機器の補助率についてどう思いましたか

	回答
満足	33
ふつう	10
その他	3
無回答	3
計	49



19. 機器の補助金交付額についてどう思いましたか

	回答
満足	33
ふつう	9
その他	2
無回答	5
計	49

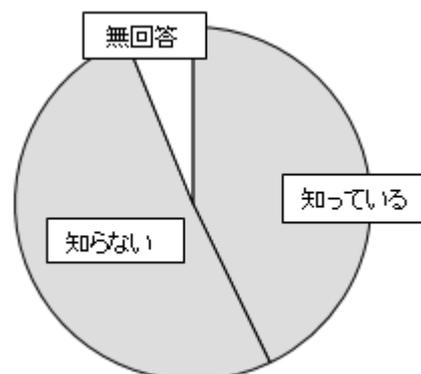


▼いくらならいいですか

- ・購入額と同じ
- ・もっとあれば良いと思います

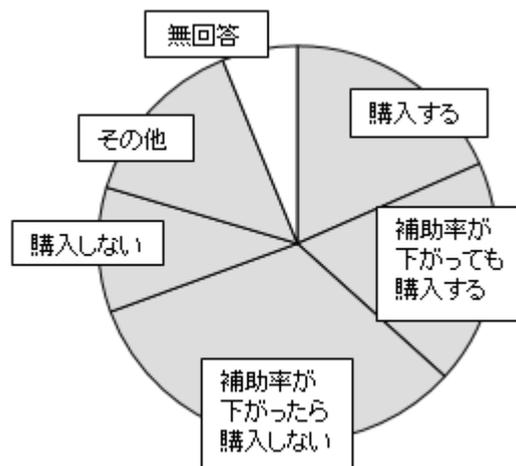
20. 機器購入5年経過後は再度補助制度が利用できることを知っていますか

	回答
知っている	21
知らない	25
無回答	3
計	49



21. お手持ちの機器の購入後5年が経過した場合、もう一度機器を購入しますか

	回答
購入すると思う	9
下がっても購入すると思う	9
下がったら購入しないと思う	16
購入しないと思う	5
その他	7
無回答	3
計	49



▼その他

- ・現在のものが壊れたら購入（4人）
- ・処理能力が弱く失敗したと思っている。興味はある。
- ・まだ動いているので考えたこともない

V. 自由記入欄一覧

ここでは、いただいた自由意見についてまとめました。

基本的には記入していただいた内容をそのまま記載していますが、以下の編集を行いました。

- 誤字等は修正しました。
- 機種名等の固有名詞が記載されているものについては、その部分のみ修正しました。
- 複数のカテゴリにまたがっているものについては、文を分けました。

1. 補助制度について

- 補助金制度引き続き継続してほしいです。
- 生ごみ処理機を使用してから生ごみが肥料になり助かっています。補助金制度は続けてほしいと思います。
- 補助制度がなかったら高額の為購入は考えておりませんでした。この制度のおかげで、環境問題等意識して生活する様になりました。
- 本当にごみを減らしたいのなら能力の高いごみ処理機を各家庭に無料で設置するくらいしないとけない。5年たって能力の高い機械が出ている事に期待。
- 充実した制度で気になっていつつも高額でためらっていた機器購入の後押しをしてくれて満足しています。引き続き継続をお願いします。
- 故障した時に補償金が出るのであれば買い替えしやすく助かります。
- この制度は良い制度だと思います。現在利用しているごみ処理機(2代目)が5年を経過し問題なく稼働していることから、すぐに買い替えるかどうか悩むところです。
- 乾燥式(電動)は高額なので、補助を利用して大変嬉しく思います。ごみを出す側は勿論ですが、収集される方や処理場での業務が少しでも楽になるのであれば、引き続き利用させていただいてと思っています。

2. 機器の使用について

- 本当にありがたい制度です。うちは生ごみの臭いで悩まされることもなく、カラス等にごみ袋をあらされることもなく、ごみの量も減って良いことばかりです。また壊れたら買い直したいです。この制度が続いていくことを望みます。
- 処理能力が思っていた以上に少なく、コンポストの方が便利な為に、何度目かの使用不能になった後、今は使用していない。

3. 生成物について

- 資源ごみとして通常の収集所に出せる様にしていただけたらと思います。(拠点回収所は駅近くで少し遠いので)
- 問17に関して、生成物を拠点回収場所だけでなく、近くのリサイクル場でも回収してもらえたら、燃えるごみではなく資源として出すと思います。
- 家庭菜園をしていないので、生成物の処理に困っています。可燃ごみに出すのであればごみ処理機の手入れの手間もかかるのでそのまま出すことが増えてきました。資源ごみの日など、もっと身近に回収して頂けたら使用回数も増えると思います。
- 回収を資源ごみ A か B の時、つまり 2 週に 1 回、近所で捨てられるようにしてほしい。せめて。

4. 補助制度の周知について

- 大変助かっています。我が家は家から離れたところにある家庭菜園で使うため運ぶのにも便利です。補助制度知らない人、知っていてもメリットがわからない人が多いと思います。ぜひ続けて欲しいです。(臭い、虫がわからない、減量化がメリット)
- 機会を作って積極的にPRしたら？
- もっとみんながわかるようになれば利用する人が増えると思います。
- 以前コンポストも補助で購入することができました。生ごみは減った方が良いですし、補助制度が5年ごとに利用できることはとてもありがたいです。資源ごみの分別は当たり前のことだと思っています。市民のみんながそういう意識が持てるよう補助制度を広めてください。

5. その他

- 特にありませんが、生ごみ処理機は欠かせません。現在2代目です。
- 前回ごみ処理機購入時の補助事務手続きはとても手際が良かったと思う。今回のようなアンケート実施もとても良いと思う。
- 電気店で生ごみ処理機種類しかおいてなかった。他のメーカーのも使ってみたい。
- 購入以来重宝しています。次に購入を考える時は、もう少し性能の良い物があると良いなと思います。
- 処理機能が不十分でメーカーが部品交換したり利用方法について指導してくれたが、悪臭がひどくなり、遂に利用を止めた。性能確認済の機械を奨励してほしい。
- 生ごみ処理機を週2～3回使うと電気代がいくらかかるか。ごみ袋を使うとどのくらい費用が違うか知りたい。いつもいつもどっちが安いか考え処理機の方が電気代が高いかと思って生ごみを出してしまう時がある。
- あまり利用せずに終わってしまいましたが。今は畑をやっているので穴を掘り直接生ごみを入れ、回収に出す生ごみはゼロです。反省!補助金を受けながら利用せずに終わりました。

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート（24年度申請）

該当する番号に○をつけてください

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で
知りましたか（複数回答可）

- ①. 広報やまと ②. 市ホームページ ③. 資源とごみのパンフレット（市配布） ④. 自治会回覧
⑤. 公共施設設置チラシ ⑥. 口コミ ⑦. ごみ関係の説明会 ⑧. 販売店等の宣伝
⑨. その他（ ）

問2. 電動式生ごみ処理機を購入した動機は、どのような理由からですか（複数回答可）

- ①. ごみを減量化したい ②. 環境問題に関心がある ③. カラス・猫対策のため
④. 成果物（堆肥）を利用したい ⑤. 補助金制度があるため
⑥. その他（ ）

問3. 補助制度がなくても電動式生ごみ処理機を購入しましたか

- ①. 購入していた ②. 購入していない ③. わからない

問4. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の意識は高まりましたか

- ①. 非常に高まった ②. 高まった ③. 変わらない ④. 低くなった

問5. 購入された電動式生ごみ処理機はどのタイプですか

- ①. 乾燥式 ②. バイオ式 ③. ハイブリッド式（送風乾燥+バイオ処理）

問6. 問5のタイプを選択したのは、どのような理由からですか。

（ ）

問7. 利用している世帯人数を教えてください。

- ①. 1人 ②. 2人 ③. 3人 ④. 4人 ⑤. 5人 ⑥. 6人以上

問8. 主に利用されている方の年齢層を教えてください。

- ①. 10代 ②. 20代 ③. 30代 ④. 40代 ⑤. 50代 ⑥. 60歳以上

問9. 現在まで、電動式生ごみ処理機をどれくらい続けて使用していますか

（実際に使用を続けている年数です。また、昔使っていて最近また使い始めた場合は、最近の期間
だけを回答してください）

- ①. 約1～2年 ②. 約3～4年 ③. 約5～6年 ④. 約7～8年 ⑤. それ以上

問10. 電動式生ごみ処理機の利用頻度はどのくらいですか

- ①. 毎日利用している ②. 週に1、2回 ③. 月に1、2回 ④. 年に数回
⑤. 使っていない ⑥. 故障して使えない ⑦. その他（ ）

問11. 電動式生ごみ処理機で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

- ①. 100g未満 ②. 100g～200g未満 ③. 200g～300g未満 ④. 300g～400g未満
⑤. 400g以上

問12. 電動式生ごみ処理機を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか

- ①. 約1/2 ②. 約1/3 ③. 約1/4 ④. その他（ ）

問13. 電動式生ごみ処理機を1週間利用した場合の、有料指定ごみ袋の使用前後の使用前後の状況を教えてください

(記入例 使用前 400袋1袋 → 使用後 300袋1袋と50袋1枚)
(使用前 → 使用後)

問14. 電動式生ごみ処理機から出る臭いはどうですか

- ①. ほとんど(まったく)臭わない ②. 多少臭うが気にならない
③. 多少臭いが気になる ④. かなり臭いが気になる
⑤. その他 ()

問15. 電動式生ごみ処理機から出る音はどうですか

- ①. ほとんど(まったく)音がしない ②. 多少音がするが気にならない
③. 多少音がして気になる ④. かなり音が気になる
⑤. その他 ()

問16. 電動式生ごみ処理機で処理したあとの生成物(堆肥・乾燥物)はどのように利用又は処理していますか

- ①. 家庭菜園等での肥料 ②. 花壇、プランター等での肥料 ③. 庭に撒く
④. 燃やせるごみに出す ⑤. その他 ()

問17. 生成物(堆肥・乾燥物)を資源の拠点回収場所に出せることを知っていますか

- ①. 利用している ②. 知っているが利用していない ③. 知らない(この設問で知った)

問18. 電動式生ごみ処理機の補助率(75%)についてどう思いましたか

- ①. 満足 ②. ふつう ③. その他 (%が妥当)

問19. 電動式生ごみ処理機の補助金交付額(上限50,000円)についてどう思いましたか

- ①. 満足 ②. ふつう ③. その他 (円程度が妥当)

問20. 補助制度は、制度利用後5年を経過すると再度利用できる(電動式生ごみ処理機を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます)ことを知っていますか

- ①. 知っている ②. 知らない(この設問で知った)

問21. お手持ちの電動式生ごみ処理機の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか

- ①. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
②. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
③. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
④. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
⑤. その他 ()

自由記入欄

電動式生ごみ処理機の補助制度や事業全体について、ご意見や感想などがあればご記入ください

ご協力ありがとうございました

**平成29年度版
生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書**

発行 大和市
平成29年11月
編集 大和市環境管理センター 収集業務課
〒242-0026 大和市草柳3-12-1
電話 046-269-7343